

# 再エネ・コンシェルジュ認証制度検討委員会第2回議事概要

日付：平成28年8月4日（木）

時間：15時～17時

場所：京都府公館レセプションホール

## 1 出席委員

麻田委員、柿沼委員、鎌谷委員、木下委員、下田委員、下西委員、瀧口委員、手塚委員（委員長）、中尾委員、野崎委員、牧野委員、松浦委員、松田高明委員、松田直子委員、宮木委員、吉広委員

## 2 主な内容

- 再エネ・コンシェルジュは、ハウスメーカーや電気店など特定業種従事者に絞るのではなく、屋根屋などの関連業種、場合によっては一般の人まで、幅広く参加できる制度にすべきとの提案が複数の委員からなされた。
- 一方で、現在期待されているコンシェルジュの役割を果たすためには、製品や施工、費用等に関する専門的知識が必要であり、再エネ・コンシェルジュとしての役割の明確化が必要であるとの指摘があった。
- 府民ニーズに答えるためにも、コンシェルジュの担い手を増やすためにも、コンシェルジュとしての提案に続く商談・受注は当然に想定されるものであることが確認された。
- 「公平・公正な立場からの正確な情報発信・アドバイス」という役割は、理想的ではあるが現実性に欠けるという指摘が複数回出された。
- 個人の認証制度ではなく事業所の登録制度としてはどうかという提案に対しては、「講習受講者が存在しているだけの事業所を認定・登録する制度には矛盾がある」などの指摘があり、あらためて事務局で整理して次回委員会に提案することとなった。
- いくつかの論点について検討・調整すべき事項は残されているものの、おおむねこの方向性で制度設計を進めていくことが合意された。